

木彫刻講座

講師 三宅一樹 全8日間

講師の三宅一樹先生は、「彫ることよりも観察が大切なのです」と仰います。自然物を、あらゆる方向からデッサンし、木の側面と上部に写します。建築のように段取りを考えながら、「観察、デッサン、木を切る」を繰り返します。

木をノコギリで、ノコギリが届かないところはノミで彫っていきます。木彫刻では、ノコギリとノミは工具ではなく、自分の手に代わる道具です。半日かけてノミの砥ぎ方を教わります。

また、講座日程のうち1日は、彫刻のある美術館を訪問し、先生が彫刻家の眼で制作過程などを詳しく解説します。



三宅一樹先生



ノミは頻りに砥ぎます

